

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R 2 - 1 4号)

令和2年9月17日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和2年9月16日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

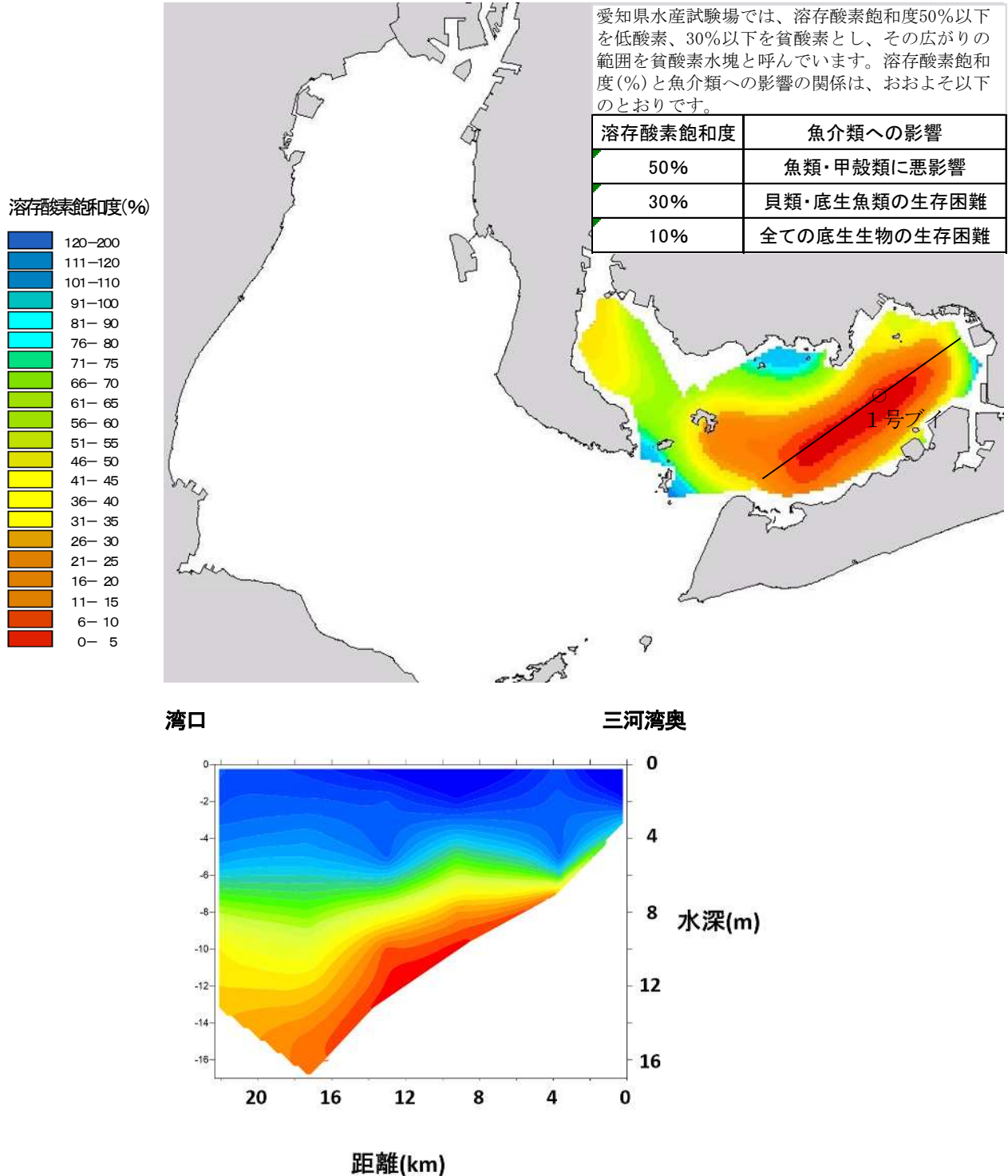


図1 三河湾(9月16日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

9月16日の調査結果を図1に示しました。貧酸素水塊は前回調査とやや分布範囲が変わったものの引き続き同程度の規模で観測されました。知多湾では貧酸素水塊はみられませんでした。低酸素の領域が拡大していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、底層の貧酸素水塊の厚みが増減を繰り返している様子が観測されました（図2）。上下層間での水温・塩分格差が小さくなっており、上下層の混合が起りやすくなってきていることが一因として挙げられます。

下層の貧酸素水が湧昇しやすく、苦潮が発生しやすい状況となっています。貧酸素水塊の周辺で強風が一定方向に連吹する場合は注意が必要です。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.2~27.2	21.9~30.4
底層	24.5~26.4	28.2~32.7

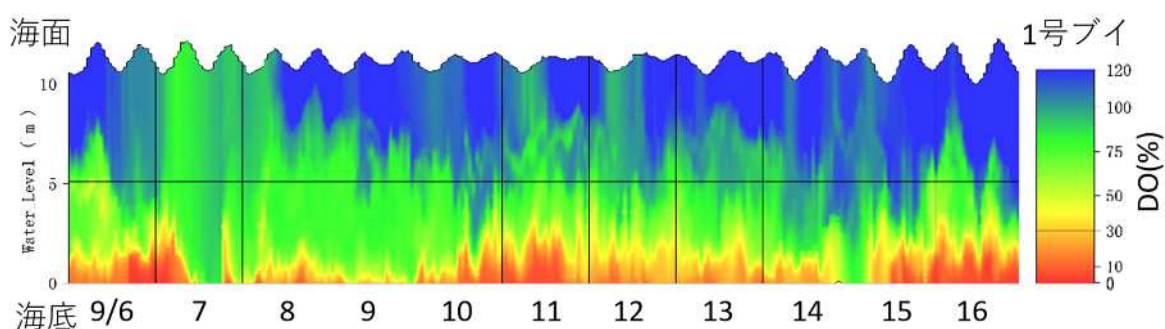


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

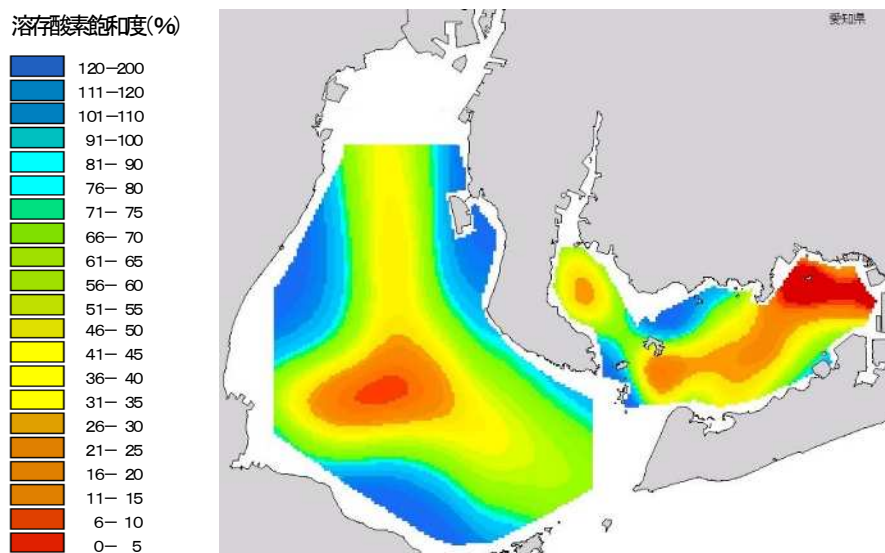


図3 令和2年9月1、2、4日（三河湾）、9月1、2日（伊勢湾）